

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成27年11月26日 (2015.11.26)

【公開番号】特開2012-237018(P2012-237018A)

【公開日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2012-196339(P2012-196339)

【国際特許分類】

C 08 F 220/00 (2006.01)

C 10 M 145/14 (2006.01)

C 10 M 149/18 (2006.01)

C 10 M 177/00 (2006.01)

C 08 F 222/38 (2006.01)

C 10 N 30/00 (2006.01)

C 10 N 30/02 (2006.01)

C 10 N 40/02 (2006.01)

C 10 N 40/04 (2006.01)

C 10 N 40/08 (2006.01)

C 10 N 40/25 (2006.01)

C 10 N 70/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 220/00

C 10 M 145/14

C 10 M 149/18

C 10 M 177/00

C 08 F 222/38

C 10 N 30:00 Z

C 10 N 30:02

C 10 N 40:02

C 10 N 40:04

C 10 N 40:08

C 10 N 40:25

C 10 N 70:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年10月8日 (2015.10.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

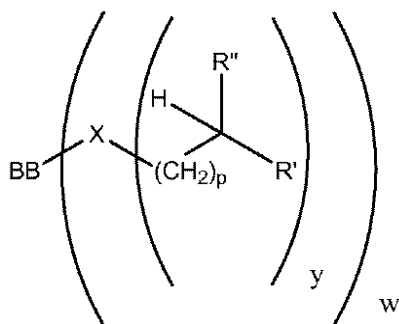
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次式の ()_w 内に表されるペンダント基を有する式 (I) のポリマー

【化 1】



式 (I)

[式中、

BB は、1 個または複数のペンダント基を有するポリマー主鎖であり、

X は、エステルであり、

w は、該ポリマー主鎖に結合している、1 ~ 2 0 0 0 の範囲のペンダント基の数であり、

y は、0 または 1 であり、但し、少なくとも 1 モル % のペンダント基において y はゼロでなく、そして、但し、y が 0 であるとき、X は、X の原子価を満たすのに十分な様式で末端基に結合しており、該末端基は、水素、アルキル、アリール、金属カチオン、またはアンモニウムカチオン、およびこれらの混合物から選択され、

p は、1 ~ 1 5 の範囲の整数であり、

R ' および R " は、それぞれ独立に、鎖状または分枝状のヒドロカルビル基であり、R ' および R " 中に存在する炭素原子を合わせた総数は、少なくとも 1 2 であり、

該ペンダント基を有するポリマーが、エステル化されたスチレン - 無水マレイン酸コポリマーであり、該コポリマーの無水マレイン酸単位は、分枝状アルキルペンダント基を有するアルコールでその後エステル化される]。

【請求項 2】

潤滑粘度の油と請求項 1 に記載のポリマーとを含む潤滑組成物。

【請求項 3】

潤滑剤の粘度指数を制御する方法であって、潤滑剤に請求項 1 に記載のポリマーを供給することを含む、方法。

【請求項 4】

前記潤滑剤が、ギヤ油、車軸油、駆動軸油、トラクション油、手動変速機油、または自動変速機油の少なくとも 1 種である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

許容される分散力特性、許容される剪断安定性、許容される粘度指数制御、および許容される低温粘度の少なくとも 1 つを得るための、請求項 1 に記載のポリマーの潤滑剤中での使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 4】

カルボン酸モノマーの適切な例としては、無水イタコン酸、無水マレイン酸、メチルマレイン酸無水物、エチルマレイン酸無水物、ジメチルマレイン酸無水物、またはこれらの混合物が挙げられる。